

一般質問

ココがききたいQ&A

8人の議員が一般質問

看護専門学校は 市民の命と健康の砦



うえじ まさひろ
宇井正一 議員

Q 香取おみがわ医療センター附属看護専門学校は、准看護学生を受け入れ、正看護師として地域病院へ送り出して、地域医療の発展と充実になくはならない存在。現在までどのような役割を果たしてきたか。今後、看護師不足が見込まれる中で、看護師確保対策をどのように考えているか。

A 看護専門学校は、昭和30年に開院した国保小見川中央病院の看護職員を確保するため、昭和39年に准看護師養成所として開設したのが始まりです。香取おみがわ医療センターでは、現在、看護職員の75.3%となる67人が准看護養成所を含む当校の卒業生で、看護師の養成を始めてから1千人を超える卒業生が香取海匝地域や県内外で地域医療に貢献をしています。香取海匝保健医療圏には千葉科学大学、旭中央病院附属看護専門学校があり、隣接する印旛保健医療圏には国際医療福祉大学、二葉看護学院、日本医科大学看護専門学校などがあることから、香取海匝地域に一定数の看護師を確保していけると考

えています。

市道の維持・管理は 市が責任を持つべきでは

Q 大角市道は、再生土事業によって破損され、市が4900万円を負担して完全修復、大崎市道は、業者が修復することの条例制定により壊されないようにすべきではないか。

A 県内の市町村において、道路の規制を独自の条例で制定している例はありません。市として、道路の規制や制限は、引き続き現行の道路関係法令により対応すべきものと考えます。

Q 農業用廃プラスチック処理料が25円から66円となり41円値上げされたが、値上げ分は全額農家負担となっている。市の助成を検討すべきではないか。

質問事項

- ◆香取おみがわ医療センター附属看護専門学校のあり方
- ◆市道の管理のあり方
- ◆農業用廃プラスチックの処理業務

A 農業用廃プラスチックは産業廃棄物となり、その性質上、原因者にその処理の義務があるため、地元自治体が補助や負担を増やすということは難しいと考えます。



処理料金が値上げされた農業用廃プラスチック

令和元年の 台風被災後の 停電対策は



いのうえ とおひろ
井上 徹 議員

Q 病院等の停電は生命の危機につながるが、各施設の対応と令和元年の長期停電時に市が行った支援策は。

A 各施設の自助努力が必要ですが、全国共通の広域災害救急医療情報システム(通称E.M.I.S)へ医療機関が情報登録することで各種支援が受けられます。市では、東京電力等が保有する電源車の要請や発電機の貸し出しを行っています。

リースを行っている企業、発電機などのリース業者等と災害協定を結び対策を進めています。

Q 災害対策費に1900万円が計上され、公用車を購入するとなっているが、電源車両としての容量、車種は。

A 外部給電可能なハイブリッド自動車を6台購入予定です。給電能力は全て1500Wです。

香取市における SDGsの現状

Q 市としてSDGsの取り組みの現状は。

A 第2次総合計画は政府指針の主要原則を考慮し策定したほか、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、主要施策とSDGsとの関連を明記しています。市の施策・事業の多くがSDGsの目標につながる

質問事項

- ◆市におけるSDGsの取り組み
- ◆令和元年の台風被災後の停電対策

ことから、各施策を展開、推進することが、SDGsの推進になります。

Q 17の目標のうち、市として取り組むべき目標は何があるか。

A 第2次総合計画に掲げた将来都市像「豊かな暮らしを育む歴史文化・自然の郷香取く人が輝き人が集うまち」の実現は、SDGsの17のゴール到達であると考えています。

Q 学校教育におけるSDGsの取り組みは。

A 新学習指導要領の1つに「持続可能な社会の創り手の育成」があることから、教科学習にSDGs関連内容が盛り込まれています。児童・生徒の実態に合わせて特色ある教育課程を編成し、どんな課題にも対応しようとする意欲や応用できる思考力を育成していきます。

Q 令和元年の長期停電を経験して、停電が発生した場合、電力分野での企業との災害協定は結ばないか。

A 東京電力パワーグリッド(株)成田支社との災害協定を締結



東京電力パワーグリッド(株)成田支社と災害協定を締結